



日歯学会発第103号
平成20年7月31日

専門分科会代表者
認定分科会代表者 各位

日本歯科医学会
会長 江藤 一 洋



平成20年度プロジェクト研究費申請公募について（依頼）

平素は、本学会会務運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学会では今年度事業計画において「歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築」を重点的に取り組むべき事業と位置づけ、歯科医学・医術の進歩発達を歯科医療現場に迅速に導入することを目的に、標記プロジェクト研究事業を企画、実施しております。これは、学術的かつ高度な研究成果を診療報酬改定時の新技術導入に向けた診療ガイドライン作成等の一助とすることを主眼としております。

平成20年度は下記の3つの研究テーマに基づく具体的な研究活動の推進、助成を図っていくこととし、今般、研究課題を公募する運びとなりました。

つきましては、本事業の趣旨をご理解いただき、下記プロジェクト研究テーマに基づく研究課題を申請していただきますようお願い申し上げます。

記

1. 研究テーマ

- 1) 新生体材料・新加工法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究
- 2) 新しい検査法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究
- 3) 顎顔面補綴治療の展開に関するプロジェクト研究

2. 研究期間 平成20年12月1日より平成22年3月31日

3. 研究費用 総額 1,400万円

4. 応募方法 別紙プロジェクト研究費応募要領参照
日本歯科医学会 HP (<http://www.jads.jp/>) 参照

平成 20 年度プロジェクト研究公募テーマ

プロジェクト研究テーマ 1

「新生体材料・新加工法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究」

趣旨

現在の歯科・口腔外科臨床では、従来とは異なる高機能なレジン、セラミックス、チタン系合金などの新生体材料を用いた治療技術、またこれらの新生体材料を対象とする CAD/CAM などの新たな加工技術の開発、導入が進んでいる。これらを広く臨床へ導入することは歯科医療レベルの向上とともに地球規模の経済面、環境面への配慮の点からも、かつ我が国の歯科産業の発展にとっても重要であり、喫緊の課題である。

そこで本プロジェクト研究では、歯科・口腔外科領域における高機能新生体材料を用いた治療術式ならびに新加工技術に関する evidence を、基礎系および臨床系の多方面の学会から集学的に蓄積し、これら材料、治療技術、加工法をより広く歯科臨床に導入することを目的とする。

プロジェクト研究テーマ 2

「新しい検査法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究」

趣旨

現在の歯科・口腔外科臨床では、その診断と治療は経験則に基づくものが未だ多く、エビデンスに基づく科学的な歯科医療の発展と定着が喫緊の課題となっている。この解決のためには、客観的な診断基準を得るための検査法の開発とその臨床への導入が必要である。一方では科学技術の進歩発展に伴い、新たな画像診断機器や新たな検査法の開発が進み、歯科臨床へ導入されつつある。

そこで本プロジェクト研究では、歯科・口腔外科領域における新しい検査法の開発と確立を目的として、基礎系および臨床系の多方面の学会の集学的な evidence を蓄積し、21 世紀の歯科医療に科学的根拠とそれに立脚した様々な検査法を組み込むことによって、歯科・口腔外科の診断体系の新たな展開を目指す。

プロジェクト研究テーマ 3

「顎顔面補綴治療の展開に関するプロジェクト研究」

趣旨

顎顔面補綴治療は、悪性腫瘍や外傷等に起因する顎顔面領域の実質欠損を有する患者を対象として、その失われた形態、機能の回復、QOL の向上を図る医療行為であり、わが国はもちろんのこと欧米諸国においても歯科・口腔外科が担っている重要な治療分野である。しかしながら、十分に組織だった症例の集計、解析、評価は行われておらず、未だ十分なエビデンスの蓄積がなされていない状況にある。

そこで本プロジェクト研究では、顎顔面補綴の新たな展開を目的として、関連学会の集学的な evidence を蓄積し、組織化された診療体系の構築を目指す。

平成 20 年度プロジェクト研究費応募要領

1. 応募方法

別紙「平成 20 年度日本歯科医学会プロジェクト研究費申請書」に必要事項を記入の上、本学会事務局へ送付してください。

ただし、同プロジェクト研究は、日本歯科医学会があらかじめ決めたテーマに対して、専門分科会および認定分科会として申請するものです。これらの応募テーマにおける各学会から申請する研究内容は、その学会が担当できる領域とします。

また、同一テーマへの複数学会からの応募については、各学会の研究分担内容を日本歯科医学会で選択することがあります。

※なお、申請書の記入にあたっては以下の点にご留意ください。

<記入項目 2：研究代表者について>

研究代表者は応募された学会の代表者である必要はありませんが、申請した研究内容を統括できる立場の方にしてください。

<記入項目 3：研究題名について>

研究題名（内容）は応募テーマ中で分担できる内容（サブテーマ）を記入してください。

※ 応募用紙は、日本歯科医学会 HP (<http://www.jads.jp/>) に掲載してありますのでダウンロードしてご活用ください。

2. 応募締切日

平成 20 年 9 月 30 日

3. 提出先・連絡先

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-20

日本歯科医師会 日本歯科医学会事務局

TEL 03-3262-9214 / FAX 03-3262-9885

4. 選考結果の通知について

選考結果は平成 20 年 11 月 30 日までに、応募いただいた各学会へご連絡いたします。

なお、選考の結果、採用となった研究の研究代表者及び分担者等には、研究分担内容および研究費額をお知らせし、研究を遂行する上での諸条件等についての説明会を予定しています。

採用後の条件

1. 中間報告書の提出について

研究期間が複数年度に亘る研究の場合は、平成 21 年 3 月 31 日までに所定の様式によって進捗状況の中間報告書を提出してください。

2. 総括成果報告書の提出について

研究成果の総まとめを総括成果報告書として、平成 22 年 3 月 31 日までに提出してください。平成 20 年度のみの研究計画の場合は平成 21 年 3 月 31 日までの提出となります。

なお、総括成果報告書は所定の様式を設けておりませんが、別紙記入例を参考にしていただき、できるだけ読みやすい報告書となるようお願いいたします。

3. 収支報告書の提出について

研究経費に関する収支報告書は、総括成果報告書と併せて所定の様式によって提出していただきます。

なお、研究費は申請分科会へ納付いたしますので、各分科会が責任を持って管理・運用をして下さい。

4. 研究成果の公表

最終的な研究成果は「日本歯科医学会誌」（毎年 3 月発行予定）に掲載を予定しております。研究代表者にはあらためて原稿依頼をいたしますのでよろしく願います。

5. 研究成果の学会発表、他誌掲載等をする際の留意点

研究成果を学会で発表する、あるいは他誌へ掲載する等の場合は、本学会の研究事業である旨、明示することを必要とします。